

2021.03.07. 上毛新聞 投稿欄

用した。数時間乗って
て車内放送は一度もな
く、静かで快適な旅が楽
しめた。

日本の列車はどうか。

途中の主要駅の到着時
刻、乗り換えや接続列車
の説明、トイレは何両目
にあるか、ドアは進行方
向に向かつてどちら側が
開くか、携帯電話はマナ
ーモードにしろーなど車
内放送の連続で、騒音と
しか聞こえない。「忘れ
物をするな」と放送して
も、列車内の雨傘の忘れ
物が年間数千本あるとい
う。サービス過剰の指摘
もうなすける。

ユーモアあふれる友と
雑談していて、もし「無
用物辞典」を編集するな
ら、列車の「過剰放送」
と百貨店の商品の「過剰
包装」を真っ先に挙げた
いという結論に達した。

やめたい過剰な包装と放送

豊景 清（高崎市・83）

高崎経済大の留学生が
第15回NRI学生小論文
コンテストで入賞したと
いう記事（1月29日付）
が載った。「日本の観光

業はサービス過剰」が論
文の趣旨のようである。
帰国したら観光旅行社を
経営する夢を描いている
ミャンマー出身の女子学
鉄の特急電車を何度か利